

嗚呼玉杯に花うけて

【作詞】 旧制第一高等学校寮寮歌
【作曲】

□□□□□

- 1、
嗚呼玉杯に花うけて 緑酒に月の影やどし
治安の夢に耽りたる 榮華の巷低く見て
向ヶ岡にそよりたつ 五寮の健兒意氣高し
- 2、
芙蓉の雪の精をとり 芳野の花の華を奪ひ
清き心の益良雄が 劔と筆とをとり持ちて
一たび起たば何事か 人生の偉業成らざらん
- 3、
濁れる海に漂へる 我國民を救はんと
逆巻く浪をかきわけて 自治の大船勇ましく
尚武の風を帆にはらみ 船出せしより十二年
- 4、
花咲き花はうつろひて 露おき露のひるがごと
星霜移り人は去り 梶とる舟師(カコ)は變るとも
我のる船は常へに 理想の自治に進むなり
- 5、
行途(ユクテ)を拒むものあらば 斬りて捨つるに何かある
破邪の劔を抜き持ちて 舳に立ちて我よべば
魑魅魍魎(チミモウリヨウ)も影ひそめ
金波銀波の海静か

嗚呼玉杯に花うけて

【作詞】
【作曲】

旧制第一高等学校寮歌

□□□□■

1、

嗚呼玉杯に花うけて

緑酒に月の影やどし

治安の夢に耽りたる

榮華の巷低く見て

向ヶ岡にそよりたつ

五寮の健兒意氣高し

嗚呼玉杯に花うけて

【作詞】旧制第一高等学校寮歌
【作曲】

2、

芙蓉の雪の精をとり

芳野の花の華を奪ひ

清き心の益良雄が

劔と筆とをとり持ちて

一たび起たば何事か

人生の偉業成らざらん



嗚呼玉杯に花うけて

【作詞】 旧制第一高等学校寮歌
【作曲】



3、濁れる海に漂へる

我國民を救はんと

逆卷く浪をかきわけて

自治の大船勇ましく

尚武の風を帆にはらみ

船出せしより十二年

嗚呼玉杯に花うけて

【作詞】旧制第一高等学校寮歌
【作曲】

4、

花咲き花はうつろひて

露おき露のひるがごと

星霜移り人は去り

梶とる舟師(カコ)は

變るとも

我のる船は常へに

理想の自治に進むなり

嗚呼玉杯に花うけて

【作詞】
【作曲】

旧制第一高等学校寮歌

5 / 5

5、

行途

(ユクテ)

を拒むものあらば

斬りて捨つるに何かある

破邪の劍を抜き持ちて

舳に立ちて我よべば

魑魅魍魎

(チミモウリョウ)も

影ひそめ

金波銀波の海静か